



一般社団法人 キャリア・カレッジ

キャリアカレッジ通信

〒862-0924 熊本市中央区帯山2丁目12番26号
TEL 096-285-8002
URL <https://www.careercollege.or.jp>

<https://www.careercollege.or.jp>



キャリアカレッジ通信
第0001号

令和5年7月号
令和5年7月1日発行

創刊号

創刊のご挨拶

施設長

津出 智宏



三年ぶりに笑顔で夏を迎えています。夏のイベントも再開されるようでワクワクされている方も多いと思います。事業所でも制限緩和に伴い、イベントや実習受け入れなどを再開し、いつもの日々が戻ってまいりました。

今年で施設を開所して十一年、帯山に来て八年目を迎えています。

引越してきてきた翌年に熊本地震、次はコロナと自然の驚異とともに社会の変化には戸惑いばかり続いてきたように思えます。

そのような中で、地域の皆さんとともに安心して「暮らせる」「働ける」環境を作ることが私たちの使命と考えています。

そこでまずキャリア・カレッジの情報をこの広報紙『キャリアカレッジ通信』で発信することになりました。事業所には、社会的自立に向けて励んでいる方や将来的に自立した生活を送れるよう子供たちが日々通所されています。どうぞよろしくお願いいたします。

地域の皆様と楽しい交流ができれば幸いです。

花ことば

放課後等デイサービス

堺 陽介



唯一無二

皆さんは連翹（レンギョウ）の花を知っていますか？世界各地に分布していて、三月と四月に黄色い花を咲かせるため、春を告げる花として知られています。また、彫刻家で詩人の故・高村光太郎氏が生前好んだ花としても有名で、本氏の命日の四月二日は連翹忌が開催されています。

その連翹の花言葉は「希望」「期待」「集中力」。花の咲く時期同様に前向きなものになっています。

これを実社会に置き換えて考えると、過去に失敗があっても、悩みすぎず、未来に意識を集中して物事に取り組んでいくと捉えることができます。私自身も連翹の花のように、常に上向きで向上心を持ち、笑顔で過ごしていきたいと思っています。

就労継続支援A型事業所

就労継続支援A型利用者

ハジメ

はじめまして、A型利用者のハジメです。ちなみにハジメはペンネームです。

僕は今年入社したばかりの新人です。そんな僕が、キャリア・カレッジに入社して感じたことを少しだけ綴りたいと思います。

まずキャリア・カレッジに入って感じたことは、皆さんから毎日挨拶をしていただけたことが印象的でした。社会人としては当たり前のことかもしれませんが、僕にとってはとても新鮮で嬉しい出来事でした。

次に印象的だったのは、朝礼と終礼の挨拶の時に手話を取り入れられていたことが新鮮でした。最初は戸惑いしましたが、少しずつ覚えていきます。仕事に関しては、一人一人

に作業があり、一人一人が自分で考え、工夫して作業できるような丁寧な支援をしていただいています。

僕自身、最初の頃は商品のシール貼りなどの軽作業が主な仕事でしたが、今は少しずつですが新しい仕事もいただけるようになりました。

具体的には、イラスト作成や今回の広報用原稿の作成を行なっています。そう、この文章のことですね。

最後に食べ物のお話をさせていただきます。キャリア・カレッジの隣にあるお弁当屋さんのお弁当が美味しかったですね。しかも安くてボリュームなところが二度美味しいと感じました。

それとキャリア・カレッジに月二回だけピーターパンというパン屋さんが商品を販売しに来られます。僕もパンを何種類か購入してみました。とても美味しかったです。機

会があれば新しいパンも食べてみたいです。

感想は以上になります。またの機会があれば、お会いできるかもしれません。最後まで読んでいただきありがとうございます。



A型作業室

就労継続支援A型支援員

津出 かよ

A型では、メンバーの自主性を大事に支援を行なっています。新メンバーのハジメさんが「広報紙の記事を書いてみたい」と言ってくれたことが、最近うれしかった出来事の一つです。

就労定着支援

サービス管理責任者

川上裕子

就労定着支援とは、就労支援を利用し、一般の企業へ就職した障がい者がより長く働けるよう支援するサービスです。

就職活動から実際に働くまで、また働き始めてからの環境の変化は、障がいがある方にとっては大きな負担になります。

そこで、就職後の悩みやトラブルに対して、本人と会社との間に入って相談や助言などを行なっています。

キャリア・カレッジでは令和元年五月に就労定着支援のサービスを開始しました。就職先企業への訪問やキャリア・カレッジ来所による相談を通じ、就労に伴い生じている課題等の解決に向け、必要な支援を行なっています。

放課後等デイサービス

ジュニア・カレッジって
どんなところ？

放課後等デイサービス指導員

中津泰斗

放課後等デイサービスとは、支援を必要とする就学児童（小学生・中学生・高校生）で障がいや発達に特性のあるお子様が放課後や長期休暇に利用できる福祉サービスです。その中でも、ジュニア・カレッジはパソコンに特化した放課後等デイサービスです。ひとり一台パソコンを使用することができ、パソコンのスキルを上げながら療育を受けることができます。

現在、約三十名が利用登録されており、毎日、定員の十名が通所されています。元氣いっぱいの子どもたち、にぎやかな日々ですが、子どもたちの笑顔がスタッフの仕事へのエネルギーとなっています。

今回は、そんなジュニア・カレッジの活動プログラムをご紹介します。

行事

お出かけジブリ展

就労継続支援B型支援員

緒方忠人

三月十七日（金）B型利用者六名とスタッフ三名で、全国を巡回している話題のジブリ展に行ってきました。

さすがにジブリの人氣は凄く、平日でも大勢の人だかり。それでも入館時間の事前予約と人数制限で、ゆったりと見る事ができました。

お目当ての猫バスとも記念写真をパシャリ。

精巧に再現された模型や制作現場の舞台裏をみながら、人々に感動を与える作品作りのエネルギーを感じた

次第です。
中にはグッズ販売コーナーでのおみやげもゲットした方もいて、楽しい余暇活動となりました。



ジブリ展の猫バスの前で

バドミントンスクール
buddy Kumamoto

コーチ 濱方友樹

バドイクマモトは小学生を対象とした熊本の本バドミントンクラブです。スクール形式で選手同士が技術を高め合う場所を提供しています。

現在、登録人数は約二十名で曜日によって利用人数は異なりますが、多い日は十名を超える参加があります。

曜日や時間、場所等の詳しい情報はホームページに掲載しておりますので、よろしく願いいたします。



buddy Kumamoto



就労継続支援B型事業所

キャリア・カレッジ就労継続支援B型とは？

就労継続支援B型支援員

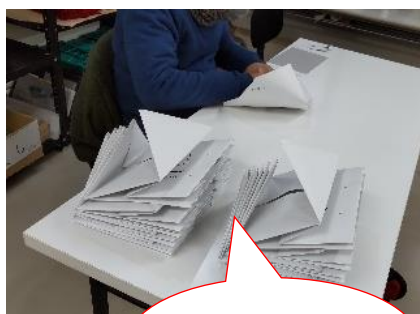
田代瑠美

就労継続支援B型は、難病や障がいがある方が対象で一般企業に就職することが難しい場合に軽作業などの就労訓練を行なうことができる福祉サービスです。障がいや体調に合わせて自分のペースで働くことができます。

キャリア・カレッジのB型では現在十三名の利用者が自分の体調に合わせて通所され

ています。月に一度の振り返り面談の際に「もう少し時間を増やしてみようか」などスタッフと調整をしながら、皆さん目標に向けて作業に取り組んでいます。

お仕事として、軽作業部門



軽作業班

手提げ袋を作っている様子です。

では手提げ袋作りやチラシ封入・封緘作業を中心に行なっています。

そして、今年の二月にはパソコン班がIT部門として新たに加わりました。

パソコン班では編集作業を取り組み始めたところですが、



PC班

1人1台パソコンが使える環境です。

他にも様々な文書や音声データ等のデータ入力、将来的にはブログやイラスト、ネットショップ出店（撮影から販売まで）を目標に掲げております。

編集後記



キャリアカレ通信第一号を発刊することができました。季節ごと年四回発行していく予定です。

キャリア・カレッジの活動や出来事を中心に情報を発信して、キャリア・カレッジのことをより多くの方に知っていただきたいと思います。

次回は秋号を発刊予定です。次号へ向けて皆さまからのご感想・ご要望をお待ちしております。

T・S

